特別点検のうちコンクリート構造物のコアサンプリング他について

＜コア抜き＞

	30年目				40年目				50年目			
	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書
北海道	**（泊２号機の例）** ・外部しゃへい建屋 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設の基礎 ・周辺補機棟及び燃料取扱棟 ・原子炉補助建屋 ・取水構造物	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	５６本 （内訳） ・建物　43本 ・土木構築物 13本	・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
東北	**（女川１号機の例）** ・原子炉建屋 ・タービン建屋 ・制御建屋 ・廃棄物処理建屋 ・焼却炉建屋 ・海水ポンプ室 ・排気ダクト ・配管ダクト ・復水貯蔵タンク基礎 ・軽油タンク基礎　・取水構造物 ・排気筒基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	１７０本 （内訳） ・建物　60本 ・土木構築物　110本	同上	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
東京	**（柏崎刈羽３号機の例）** ・原子炉複合建屋 ・タービン建屋 ・海水機器建屋 ・取水構造物 ・非常用ガス処理系配管ダクト ・原子炉補機冷却水系配管ダクト ・排気筒基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	７５本 （内訳） ・建物　54本 ・土木構築物　21本	同上	30年目に加え炉心領域等を追加予定であり，「実用発電用原子炉の運転期間延長認可申請に係る運用ガイド」別紙の「○沸騰水型軽水炉」に従う。	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・遮蔽能力（乾燥単位容積質量） ・アルカリ骨材反応	30年目の1.6～1.7倍程度（想定）	・運転延長運用ガイド ・運転延長審査基準 ・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中
北陸	**（志賀１号機の例）** ・原子炉建屋 ・タービン建屋 ・海水熱交換器建屋 ・廃棄物処理建屋 ・サービス建屋 ・取水構造物 ・軽油タンク基礎 ・原子炉建屋～軽油タンク連絡ダクト	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	５５本 （内訳） ・建物　30本 ・土木構築物　25本	同上	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
中部	**（浜岡４号機の例）** ・原子炉建屋 ・タービン建屋 ・非常用ガス処理配管ダクト ・原子炉機器冷却海水ポンプ室	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	６１本 （内訳） ・建物　29本 ・土木構築物　32本	同上	検討中	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・遮蔽能力（乾燥単位容積質量） ・アルカリ骨材反応	検討中	・運転延長運用ガイド ・運転延長審査基準 ・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中
関西	**（高浜３号機の例）** ・外部遮蔽壁 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設基礎 ・原子炉補助建屋 ・取水構造物 ・タービン架台 ・緊急時対策所（当時。１,２号原子炉補助建屋内）	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	３６本 （内訳） ・建物　21本 ・土木構築物　15本	同上	**（高浜３号機の例）** ・外部遮蔽壁 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設基礎 ・原子炉補助建屋 ・取水構造物 ・タービン建屋 ・タービン架台 ・非常用ディーゼル発電用燃料油タンク基礎 ・復水タンク基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・遮蔽能力（乾燥単位容積質量） ・アルカリ骨材反応	１３８本 （内訳） ・建物　８８本 ・土木構築物　５０本	・運転延長運用ガイド ・運転延長審査基準 ・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中
中国	**（島根２号機の例）** ・原子炉建物 ・タービン建物 ・制御室建物 ・取水構造物	・圧縮強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	１１７本 （内訳） ・建物　93本 ・土木構築物　24本	同上	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中

＜コア抜き＞

	30年目				40年目				50年目			
	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書	コア採取構造物	点検項目	コア抜き箇所数	点検対象・項目の選定にあたり参照した図書
四国	**（伊方２号機の例）** ・外部遮へい壁 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設基礎 ・原子炉補助建家 ・タービン建家 ・取水構造物 ・非常用ディーゼル発電用燃料タンク基礎 ・復水タンク基礎 ・燃料取替用水タンク基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・アルカリ骨材反応	１３０本 （内訳） ・建物　40本 ・土木構築物　90本	同上	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
九州	**（川内１号機の例）** ・外部遮蔽壁 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設基礎 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・取水構造物	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	５７本 （内訳） ・建物：39本 ・土木構築物：18本	同上	**（川内１号機の例）** ・外部遮蔽壁 ・内部コンクリート ・原子炉格納施設基礎 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・取水構造物 ・燃料取替用水タンク基礎 ・燃料油貯油槽基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・遮蔽能力（乾燥単位容積質量） ・アルカリ骨材反応	１４９本 （内訳） ・建物：９４本 ・土木構築物：５５本	・運転延長運用ガイド ・運転延長審査基準 ・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中
原電	**（東海第二の例）** ・原子炉建屋 ・タービン建屋 ・取水構造物 ・排気筒基礎 ・復水貯蔵タンク基礎 ・軽油タンク基礎	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透	４８本 （内訳） ・建物　33本 ・構築物　15本	同上	**（東海第二の例）** ・原子炉建屋 ・タービン建屋 ・取水構造物 ・排気筒基礎 ・使用済燃料乾式貯蔵建屋	・強度 ・中性化深さ ・塩分浸透 ・遮蔽能力（乾燥単位容積質量） ・アルカリ骨材反応	７５本 （内訳） ・建物　55本 ・土木構築物　20本	・運転延長運用ガイド ・運転延長審査基準 ・原子力学会PLM実施基準 ・PLM実施ガイド ・PLM審査ガイド （JNES審査マニュアル）	検討中	検討中	検討中	検討中

＜リバウンドハンマー＞

各社「原子力施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」をベースに頻度等を設定しており、以下の3パターンが確認された。

	頻度	位置付け
北陸	30年目に実施	30年PLMで機器のコンクリート基礎の機械振動による強度低下がないことの補足説明として実施。
九州	１回／３保全サイクル	通常の保全として実施。
その他電力	１回／５年	通常の保全として実施。